

【NEWS RELEASE】

2024年1月4日

各位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

三井住友フィナンシャルグループ 執行役社長 グループ CEO 年頭メッセージ要旨

本日、三井住友フィナンシャルグループ（以下、当社グループを総称して「SMBC グループ」）執行役社長 グループ CEO 中島 達は、グループ会社の役職員に対して以下の趣旨のメッセージを送ったのでお知らせいたします。

【要 旨】

まずは、この度の能登半島地震により被災された方々に心よりお見舞い申し上げる。また、余震が続くなか、被災者やお客さまのために活動する従業員に深く感謝申し上げる。SMBC グループとしても、早期復興に向け、できる限りの支援をしていく所存である。

さて、昨年を振り返ると、日本では、コロナ禍の様々な制約が解除され、ようやく本格的に経済活動が再開した一年であった。世界でも、金利が上昇する一方で、景気は堅調さを維持しており、マーケット環境も比較的良好に推移した。

そのようななか、SMBC グループは、新たな中期経営計画、「Plan for Fulfilled Growth」をスタートした。皆には、業務環境の追い風を捉えつつ、持ち場持ち場で力を尽くしてもらい、まずは良い形で第一歩を踏み出すことができた。

2024 年は、日本や世界の持続的成長に向けて、中計施策を加速させる重要な年。環境変化のスピードは速まっているが、皆には、自信をもって、お客さまに最高のソリューションを提供できるよう、日々活動してもらいたい。

そこで、私が仕事をする上で大切に、皆に心掛けてもらいたいこととして、学生時代にプレーしたラグビーで謳われている5つのコアバリューから3点を引用して申し上げる。

1つ目は、「Passion」、すなわち、情熱をもって取り組むということ。SMBC グループが生み出す経済的価値、社会的価値の源泉は、皆一人ひとりの、「お客さまの役に立ちたい」、「社会に貢献したい」、という情熱にほかならない。その強い思いが、業務におけるオーナーシップの発揮や健全なリスクテイクにつながり、個としての力を大きく高める。私は、皆が存分に力を発揮できる舞台をしっかりと準備する。

2つ目は「Solidarity」、すなわち、皆の力を結束するということ。ラグビーのスクラムは、個々の力を高め、それを結集することで、さらに強くなる。SMBC グループも、皆が、その多様な力を結束させることで、生み出す価値をさらに高めていくことができる。皆が、SMBC グループの一員であることに誇りを持ち、互いに助け、励まし合って、切磋琢磨しつつ高め合う、そのような強い One Team を皆と共に作り上げていきたい。

3つ目は「Integrity」、すなわち、品位を育むということ。品位は、コンプライアンスを遵守することは当然として、これにフェアネスの精神と誠実さが加わることで育まれる。SMBC グループも、皆一人ひとりが金融のプロフェッショナルとして、規制やルールを遵守するだけでなく、公正かつ誠実に、経済的価値の追求と社会的価値の創造に励むことにより、品位ある企業として社会に賞賛されるようにしていきたい。

今年の干支は「辰（龍・たつ）」。皆が自分自身で思い描く夢、そして、SMBC グループが目指す、幸せな成長の時代の実現に向けて、グループ一丸となって、昇り龍の如く、高みを目指して進んでいきたい。

以 上